

# 令和2年度 通常総会議事資料

<2020年5月31日>

## <議 事>

- |   |      |  |
|---|------|--|
| 1 | 日 時  | 2020年5月31日(日) 14:00~17:00 受付開始 13:00   |
| 2 | 会 場  | 東京事務所(予定) 東京都渋谷区(オンラインによる参加)   |
| 3 | 付議事項 | 第一号議案 令和元年度事業報告並びに決算及び監査報告について<br>第二号議案 令和2年度事業計画並びに予算について<br>第三号議案 令和2年度役員を選任について |

特定非営利活動法人  
日本ファシリテーション協会

## 令和元年度事業報告

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

創設17年目を迎えた令和元年度は、これから組織が向かう方向性を定めていくために各地でFAJ創設の原点を確認する場が開かれました。また、各地の支部イベントでは「わかりあえなさ」「ギャップ」など社会に分断が生まれている状況を捉え・打開する術を模索する活動が開かれました。なお、年度末には新型コロナウイルス感染被害の影響でいくつかの活動中止を余儀なくされましたが、組織の知見を基にしたオンラインツールを用いた活動も始まりました。

**調査・研究事業:** 定例会、例会等において、FAJ内外のファシリテーターとの研鑽の場づくりを行いました。前年度に引き続き、オンラインを活用し、地理的・時間的制約を超えて探究の場を広げました。

**教育・普及事業:** 基礎セミナー及びアフターミーティングを全国で開催し、運営の効率化・相互協力を促進しました。「実践編セミナー」のリリースに向け、新コンテンツの開発・試行を実施し、体制の検討を行いました。

**支援・助言事業:** 社会課題の解決や新しい社会の創造に関わる様々な個人・団体の要請に対して、ファシリテーションを活用した支援を行いました。さらに教育分野に注力した支援に関する検討を始めました。

**交流・親睦事業:** 地域イベントの開催、IAF大会への会員派遣、グローバル社会に向けたファシリテーションへのニーズ探索等の活動を通じて、国内各地域や国境・文化を越えた交流を深め、FAJのグローバル活動の幅を広げました。

**広報・コミュニケーション活動:** ファシリテーションのインパクトをより効果的に社会に伝えるとともに、将来の会員や支援先、協働パートナーを見据えた広報を展開しました。また、会員相互のコミュニケーションの充実を図りました。

**ミッションおよび組織運営に関わる活動:** 全国の会員がリアル／オンラインの場で対話と議論を重ねながら、FAJ活動の意義を問い直し、よりよい運営方法を考えることで、そのあり方とやり方を検討しました。

以下、事業計画に沿って、事業の概要を報告します(括弧内は担当組織を表します)。

### 1 ファシリテーション技術の確立や新しい技術の開発を目指す調査・研究事業

#### 1) 実践力の相互研鑽の場作りの推進(理事会、各支部運営委員会、プロジェクト)

- 各支部・サロンで開催した「定例会」「例会」にて、現場でファシリテーションを実践している内外のファシリテーターの話題提供をもとに「学び」と「実践」双方の視点からファシリテーションについて探究し、調査、研究しました。結果についてはホームページなどにレポートとして掲載しました。プロジェクト活動の新規設立はありませんが、テーマ型サロンが新たに2つ立ち上がりました。
- 新型コロナウイルスの影響によりリアルで行う「定例会」「例会」が中止となる中、オンラインによる全国の支部長連携による大規模な企画の実施や、オンラインファシリテーション研究サロンをはじめとした「定例会」「例会」を積極的に開催しました。

#### 2) ファシリテーションの本質を研究(理事会、イベント実行委員会)

- 総会後に実施した「ファーストミーティング」の場で巨大イベントのコアメンバーを募り、立場・環境・地域・世界など様々な壁を乗り越えるための対話の場を軸としたファシリテーションイベントを企画しました。
- 全国のファシリテーターが集い語り合う、ファシリテーションの未来が見える場として、全国イベント「ファシリテーションサミット」を企画しました。

## 2 ファシリテーター養成や実践方法の普及を目指す教育・普及事業

### 1) 従来の公開セミナーの継続強化(公開セミナー委員会)

- 後述のとおり、27会場39クラスを開催しました。またアフターミーティングを4回開催しました。
- 講師トレーニングを2回実施し、講師のスキルアップを行いました。また、准講師トライアルを1回実施しました。基礎セミナーのコンテンツをよりわかりやすくアップデートしました。
- 地域を越えてセミナー運営をサポートするセミナー・サポート・センター(SSC)を活用し、申込みweb開設、受講料の入金確認、申込者等からの問い合わせサポートを行うことで、委員会運営の効率化・相互協力を行い、スムーズな準備・運営を図りました。

### 2) 公開セミナーの新たな展開の検討(理事会、公開セミナー委員会)

- 開発している実践編コンテンツ試行版の改良を重ね、セミナー受講者有志を対象としたパイロットセミナーを2回実施しました。事業化に向けてプログラムのブラッシュアップおよび、講師や運営の体制について検討を行いました。

## 3 各種団体におけるファシリテーションの活用をサポートする支援・助言事業

### 1) 社会からの多様な要請に対する支援の充実(ファシリテーションサポート委員会)

- 所属する委員の専門知見を共有しながらヒアリングを実施し、地域や分野で近い会員がいるときは、サブファシリテーターとしての案件関与を依頼しました。また、継続案件に対しては、現場の自立を促せるようフェーズを変える提案もしくは支援を実施しました。
- 案件分析結果において、教育分野から一定数の依頼があることを確認しました。そのため、今後の事業において教育分野での支援・助言の効果を高められるよう、過去案件および会員リソースを活かした知見集約の実施方針を定めました。

### 2) 災害復興・防災・減災に関するファシリテーションを通じた支援(災害復興委員会)

- 台風19号災害では、これまでの災害復興支援活動の中で関係を育んできた団体等と共に、情報共有会議などにおける災害支援を実施することができました。また、東日本大震災、熊本地震、九州北部豪雨災害、西日本豪雨災害も継続して、復興フェーズに応じた支援活動を行いました。
- 板書勉強会を各地で開催することで、災害現場に対応できる人材の発掘を行いました。また、東日本大震災の復興支援においては復興の担い手に対してファシリテーションの養成プログラムを実施するなどの人材育成の機会を設けました。
- JVOADが主催するフォーラムの分科会で委員会の知見や経験を共有する場を設けたり、内閣府が各地で実施する三者連携の研修会においてはファシリテーションを活用したワークショップを実施し、防災・減災に役立たせる活動を実施しました。

### 3) 支援活動への理解の促進(ファシリテーションサポート委員会、災害復興委員会)

- ファシリテーションサポート委員会では、定例会への話題提供を通じて、支援・助言活動の意義について理解浸透に努めました。
- 災害復興委員会では、その活動を会員や社会に向けて、委員会報告書や東京での報告会、SNSなどで発信し、本事業の効果・意義を広く伝えました。

## 4 ファシリテーターや関連団体間の親睦を図る交流・親睦事業

### 1) 地域イベントを開催(各支部運営委員会、地域イベント実行委員会)

- 東北・東京・関西・九州の各支部において多彩なテーマで地域イベントを開催し、FAJ 内外の交流を促進できました。北海道・中部・中国の支部イベントは、新型コロナウイルスの影響により中止しました。

## 2) 国境や文化・言語を越えてつなげる活動強化(理事会、グローバルファシリテーション推進委員会)

- IAF(International Association of Facilitators)マレーシア大会へ4名の若手FAJ会員を派遣しました。大会参加報告会をオンライン、沖縄サロン、関西支部にて開催し、報告書をホームページ上で共有しました。
- グローバル社会に向けたファシリテーションへのニーズ探索を実施し、外国人就労支援団体の活動支援や科学技術の社会実装のためのファシリテーションに対して、FAJとしての活動の可能性を見出しました。
- 委員会のあり方について検討した結果、グローバル領域における窓口機能やFAJのグローバル化を促進する機能を今後も担っていくことを改めて確認しました。

## 3) 他団体との連携強化(理事会、各支部運営委員会、事務局)

- IAFやICA(Institute of Cultural Affairs)のイベント情報をFAJ内で共有し、各団体の会員相互の交流を促進しました。
- 外部団体のイベントに、運営面やファシリテーターの役割として協力するなどの取り組みを行いました。

# 5 広報・コミュニケーション活動

## 1) 広報戦略の立案と発信の強化(理事会、広報委員会)

- 広報ターゲットに合わせた広報活動を継続的に推進するために、広報委員会を新設し運営を開始しました。
- 新たな広報ツールとしてブログを開設し、全国に発信しました。

## 2) FAJ活動を内外に発信する広報活動の実施(広報委員会)

- ファシリテーションに関する知見や、会員の実践事例収集のための取材をし、Webサイトに掲載しました。
- ニュースレターを年2回発行し、会員相互で知見を共有することで積極的な活動を促しました。
- 広報ターゲットにあわせたWebコンテンツの充実のための検討を行いました。またプレスリリースする際の要点と発信のプロセスを整理したマニュアルを作成・展開したり、実際にプレスリリースを用いて各支部イベントの開催情報を発信しました。

## 3) 会員相互のコミュニケーションの充実(理事会、広報委員会、システム管理委員会、事務局)

- セキュリティ対策として、メール・メーリングリスト機能をG-suiteに移行しました。各拠点・専門委員会で、Slack・Stock等によるコミュニケーション・情報共有を施行しました。

# 6 ミッションおよび組織運営に関わる活動

## 1) 組織のあり方と運営のやり方の検討(理事会、各拠点、事務局)

- 理事会を各支部の定例会に併せて開催し、運営の現場との意見交換を実施しました。また、FAJの原点及びこれからのFAJに関する方向性を、2回の拡大理事会の中で各拠点と議論しました。
- 予算収支を考え、持続可能な活動を進める上でも、会員がボランティアで活動する意味を改めて問い直し、事業と法人運営とで活動範囲の整理を始めました。
- 令和元年台風19号の支援活動において中央共同募金会より1,830,000円の助成金拠出を受けました。

## 2) 各種制度改正への対応(理事会、事務局)

- 制度改正への対応はありませんでした。

# I 特定非営利活動に係る事業

## 1. 調査・研究事業

事業内容	実施日時	実施場所	従業者数	受益対象者数		
				会員	一般	
北海道支部 定例会	4月6日	北海道札幌市 生涯学習センター ちえりあ 2階 中研修室2	3	19	0	
	5月11日	北海道札幌市 生涯学習センター ちえりあ 2階 中研修室2	3	26	6	
	6月8日	北海道札幌市 生涯学習センター ちえりあ 2階 中研修室2	3	22	3	
	7月6日	北海道札幌市 生涯学習センター ちえりあ 3階 研修室5、6	3	13	2	
	8月3日	北海道札幌市 生涯学習センター ちえりあ 2階 中研修室2	3	20	2	
	9月7日	北海道札幌市 生涯学習センター ちえりあ 2階 中研修室1	3	18	1	
	10月5日	北海道札幌市 生涯学習センター ちえりあ 2階 中研修室1	3	21	2	
	10月26日	北海道江別市 JAカレッジ(北海道農業協同組合学校)	5	5	1	
	12月7日	北海道札幌市 生涯学習センター ちえりあ 2階 中研修室1	3	6	1	
	1月11日	北海道札幌市 生涯学習センター ちえりあ 2階 中研修室2	3	2	19	
	2月1日	北海道札幌市 生涯学習センター ちえりあ 2階 中研修室2	3	0	12	
	受益対象者延べ人数					201
	東北支部 定例会	4月6日	宮城県仙台市 仙台市戦災復興記念館 4階第2会議室	4	10	3
5月11日		宮城県仙台市 仙台市戦災復興記念館 4階第2会議室	3	13	3	
7月6日		宮城県仙台市 仙台市戦災復興記念館 4階第2会議室	4	17	1	
8月3日		宮城県仙台市 仙台市戦災復興記念館 4階第2会議室	3	16	1	
9月7日		宮城県仙台市 仙台市戦災復興記念館 4階第1会議室	3	17	1	
10月15日		宮城県仙台市 仙台市戦災復興記念館 4階第2会議室	3	15	2	
11月2日		宮城県仙台市 トークネットホール仙台(仙台市民会館) 第5会議室	3	11	3	
12月7日		宮城県仙台市 トークネットホール仙台(仙台市民会館) 第3会議室	3	14	2	
2月1日		宮城県仙台市 仙台市戦災復興記念館 4階第1会議室	3	13	3	
3月14日		オンライン開催	7	26	0	
受益対象者延べ人数					171	
東京支部 定例会	4月27日	東京都品川区 スクエア荏原 イベントホール、大会議室、中会議室	21	104	14	
	5月25日	東京都品川区 スクエア荏原 イベントホール、大会議室、中会議室	12	70	10	
	6月22日	東京都台東区 台東区民会館 第二、三、四、特別(中)会議室	15	76	3	
	7月27日	東京都北区 北とぴあ 701、901会議室、第二研修室A、B	15	71	2	
	8月24日	東京都千代田区 千代田プラットホームスクエア 会議室	17	85	3	
	9月28日	東京都葛飾区 かつしかシンフォニーヒルズ レインボー、コンチェルト、ラベンダー、ライラック	16	68	2	
	10月26日	東京都北区 北とぴあ 701、802、901、902会議室	14	78	9	
	11月23日	東京都葛飾区 かつしかシンフォニーヒルズ レインボー、ライラック、ビジュアル、メヌエット	16	102	10	
	12月21日	東京都北区 北とぴあ 901、902会議室、第二研修室A、B	17	58	6	
	2月22日	東京都葛飾区 かつしかシンフォニーヒルズ	中止			
	3月28日	オンライン開催	12	46	2	
受益対象者延べ人数					819	
中部支部 定例会	4月20日	愛知県名古屋市 東桜会館 集会室	11	29	4	
		愛知県名古屋市 第一アメ横ビル 4階				
	5月18日	愛知県名古屋市 東桜会館 第2会議室	2	56	0	
	6月16日	愛知県刈谷市 刈谷市中央生涯学習センター 402、403研修室	6	18	1	
	7月20日	愛知県名古屋市 名古屋工業大学 ラーニングcommons	6	24	6	
		愛知県名古屋市 東桜会館 集会室				
	8月17日	愛知県名古屋市 東桜会館 集会室、第2会議室	8	19	1	
	9月21日	愛知県名古屋市 東桜会館 集会室、第2会議室、講師控室	9	21	10	
	10月19日	愛知県名古屋市 東桜会館 集会室	5	29	7	
		愛知県名古屋市 東生涯学習センター 第2集会室				
	11月17日	愛知県名古屋市 南生涯学習センター 第2集会室、視聴覚室	6	12	1	
	12月21日	愛知県名古屋市 東桜会館 第2会議室	8	41	4	
		愛知県名古屋市 東生涯学習センター 視聴覚室				
1月18日	愛知県名古屋市 東桜会館 第2会議室	3	17	1		
2月15日	愛知県名古屋市 東生涯学習センター 第2集会室、視聴覚室	2	17	2		
3月21日	オンライン開催	4	15	0		
受益対象者延べ人数					335	

事業内容	実施日時	実施場所	従業者数	受益対象者数	
				会員	一般
関西支部 定例会	4月13日	兵庫県西宮市 西宮市民会館 301、401、502号室	12	71	9
	5月11日	兵庫県西宮市 西宮市民会館 301、401、502号室	16	56	17
	6月8日	兵庫県西宮市 西宮市民会館 301、401、502号室	11	70	12
	7月6日	兵庫県西宮市 西宮市民会館 301、401、502号室	12	66	9
	8月10日	兵庫県西宮市 西宮市民会館 301、401、502号室	9	54	5
	9月14日	兵庫県西宮市 西宮市民会館 301、401、502号室	11	36	22
	9月22日～23日	高知県高知市 オーテピア高知図書館	12	25	7
	10月12日	兵庫県西宮市 西宮市民会館 401号室	3	20	2
	11月7日	兵庫県西宮市 西宮市民会館 401、502、601号室	15	76	12
	11月30日～12月1日	兵庫県神戸市 スペースアルファ神戸	8	21	0
	12月14日	兵庫県西宮市 西宮市民会館 301、401、502号室	14	61	2
	1月11日	兵庫県西宮市 西宮市民会館 301、401、502号室	9	33	4
	1月25日	兵庫県西宮市 西宮市民会館	2	23	0
	3月14日	大阪府大阪市 難波御堂筋ホール 8F-A 及び オンライン開催	3	71	10
	受益対象者延べ人数				
中国支部 定例会	4月20日	広島県広島市 広島県民文化センター 6F サテライトキャンパスひろしま「ひろしまNPOセンター」交流スペース	1	8	1
	5月18日	広島県広島市 広島県民文化センター 6F サテライトキャンパスひろしま「ひろしまNPOセンター」交流スペース	2	8	4
	6月15日	広島県広島市 広島県民文化センター 6F サテライトキャンパスひろしま「ひろしまNPOセンター」交流スペース	3	14	7
	7月20日	広島県広島市 おりづるタワー 10階 エソール広島 研修室	3	6	4
	8月17日	広島県広島市 広島県民文化センター 6F サテライトキャンパスひろしま「ひろしまNPOセンター」交流スペース	3	4	4
	9月21日	広島県広島市 おりづるタワー 10階 エソール広島 研修室	2	12	10
	10月19日	広島県広島市 広島市南区民文化センター 3階 ギャラリー	3	10	26
	11月16日	広島県広島市 広島県民文化センター 6F サテライトキャンパスひろしま「ひろしまNPOセンター」交流スペース	3	7	8
	12月21日	広島県広島市 広島県民文化センター 6F サテライトキャンパスひろしま「ひろしまNPOセンター」交流スペース	3	3	5
	1月18日	広島県広島市 広島県民文化センター 6F サテライトキャンパスひろしま「ひろしまNPOセンター」交流スペース	1	9	8
3月21日			中止		
受益対象者延べ人数					158
九州支部 定例会	4月6日	福岡県福岡市 NPO・ボランティア交流センター あすみん セミナールーム	4	30	5
	5月11日	福岡県福岡市 久留米大学福岡サテライト	2	24	8
	6月8日	福岡県福岡市 久留米大学福岡サテライト	3	25	7
	7月6日	福岡県福岡市 リファレンス駅東ビル V-2会議室	3	28	7
	8月3日	福岡県福岡市 REPOS211(パルコ新館5階)	7	22	8
	9月7日	福岡県福岡市 NPO・ボランティア交流センター あすみん	2	21	5
	10月5日	福岡県福岡市 なみきスクエア 第1、第2会議室	3	24	14
	12月7日	福岡県福岡市 なみきスクエア 第1、第2会議室	4	34	3
	1月11日	福岡県福岡市 ももちパレス(福岡県立ももち文化センター)	4	3	17
	2月1日	福岡県福岡市 なみきスクエア 2階 視聴覚室	4	8	23
	3月7日			中止	
受益対象者延べ人数					316
サロンサポート	—	地域型11か所(秋田・埼玉・群馬・新潟・富山・和歌山・岡山・四国・熊本・佐賀・長崎・沖縄)、テーマ型3か所(ビジネスファシリテーション・TOC×Facilitation、オンラインファシリテーション研究、行動科学ファシリテーション、教育工学ファシリテーション)	—	—	—
受益対象者延べ人数					0

## 2. 教育・普及事業

事業内容	実施日時	実施場所	従業者数	受益対象者数	
				会員	一般
公開セミナー	4月20日	大阪府大阪市 ドーンセンター 第1大会議室・第3会議室	8	17	19
	4月21日	東京都港区 機械振興会館	5	5	15
	5月18日	東京都港区 麻布台セミナーハウス	19	18	41
	5月25日	沖縄県那覇市 沖縄産業支援センター	4	4	13
	6月15日	秋田県秋田市 秋田県青少年交流センター	4	4	16
	6月15日	富山県高岡市 高岡生涯学習センター	4	3	17
	6月15日	福岡県福岡市 博多駅バスターミナルビル	7	5	15
	6月22日	愛知県豊田市 とよた市民活動センター	6	5	13
	6月22日	兵庫県神戸市 スペースアルファ三宮	11	14	23
	7月13日	宮城県仙台市 PARM-CITY131 ANNEX	6	10	2
	7月20日	東京港区 麻布台セミナーハウス	18	11	44
	8月4日	東京港区 機械振興会館	6	2	18
	9月7日	愛知県名古屋市中区 さかえビル	7	1	17
	9月21日	東京港区 機械振興会館	19	14	45
	10月19日	福岡県福岡市 博多駅バスターミナルビル	5	3	17
	10月26日	大阪府大阪市 エル・大阪(大阪府立労働相談センター)	7	7	13
	11月4日	和歌山県和歌山市 県民交流プラザ 和歌山・ビッグ愛	7	9	10
	11月9日	北海道札幌市 札幌市産業振興センター	5	5	7
	11月9日	香川県立ミュージアム	5	4	11
	11月16日	東京中央区 有楽町リファレンス	15	13	47
	12月7日	愛知県名古屋市中区 ウィンクあいち	5	0	17
	12月8日	東京港区 機械振興会館	5	0	18
	1月18日	東京港区 機械振興会館	14	4	56
	2月1日	広島県広島市 広島県男女共同参画財団	5	15	3
	2月15日	宮城県仙台市 PARM-CITY131 ANNEX	6	5	3
	2月15日	熊本県熊本市 熊本市市民会館	7	4	5
	2月22日	京都府京都市 京都私学会館	5	9	10
	2月22日	岡山県岡山市 ビギニー会議室			中止
	2月29日	北海道札幌市 札幌市産業振興センター			中止
	3月1日	愛知県名古屋市中区 ウィンクあいち			中止
	3月20日	新潟県新潟市 新潟ユニゾンプラザ			中止
	3月21日	東京港区 機械振興会館			中止
	受益対象者延べ人数				
アフターミーティング	6月15日	東京都目黒区 田道住区	9	5	0
	5月11日	兵庫県西宮市 西宮市民会館	2	1	2
	10月19日	東京都目黒区 社会教育館	5	6	3
	2月15日	東京都目黒区 原町住区センター	7	2	8
受益対象者延べ人数					27

## 3. 支援・助言事業

事業内容	実施日時	実施場所・実施内容	従業者数	受益対象者数	
				会員	一般
ファシリテーションサポート委員会	4月5日 他1回	埼玉県東松山市 高校教員、生徒向けファシリテーション研修	4	0	332
	4月12日	岩手県盛岡市 大学生向けワークショップ	5	0	135
	4月20日	東京都港区 港区役所 区民対象ワークショップ	3	0	12
	4月26日	東京都国立市 高校生向けワークショップ	4	0	318
	5月29日	北海道札幌市 北海道開発局でのファシリテーション研修	2	0	17
	5月30日他2回	東京都千代田区 プラチナ構想ネットワークでの会議支援など	5	0	180
	6月16日他1回	東京都文京区 NPO職員向けファシリテーション研修	4	2	17
	6月18日	岡山県瀬戸内市 看護、介護職員向けファシリテーション研修	1	0	26
	6月27日	熊本県上益城郡 行政職員向けファシリテーション研修	1	0	87
	7月17日他1回	神奈川県川崎市 医療福祉関係者向けファシリテーション研修	4	0	54
	7月21日	神奈川県横浜市 NPO法人 吸入療法医療専門職向けファシリテーション研修	2	0	46
	7月26日	東京都渋谷区 全国高等学校家庭クラブ連盟 高校生向けファシリテーション研修	2	0	90

事業内容	実施日時	実施場所・実施内容	従業者数	受益対象者数	
				会員	一般
ファシリテーションサポート委員会	8月27日	群馬県前橋市 保険会社 社員向けファシリテーション研修	1	0	20
	8月27日	東京都西多摩郡 公立中学校 教員向けファシリテーション研修	2	0	15
	8月27日他5回	鹿児島県霧島市 社会福祉協議会 職員向けファシリテーション研修	18	0	161
	9月9日他1回	群馬県富岡市 病院職員向けファシリテーション研修	2	2	51
	9月16日	東京都文京区 NPO法人 職員向けファシリテーション研修	2	1	5
	9月18日他1回	東京都練馬区 練馬区高齢者支援課 主任介護支援専門員向けファシリテーション研修	9	0	160
	10月2日他6回	群馬県高崎市 公立大学 ファシリテーション演習授業	19	0	328
	10月9日	滋賀県大津市 教育委員会 地域人権リーダー向けワークショップ	2	0	50
	10月24日ほか1回	広島県尾道市 広島保護観察所 社会復帰調整官向けケア会議ファシリテーション研修	7	0	65
	10月28日	兵庫県芦屋市 行政機関向けファシリテーション研修	1	0	21
	10月29日	東京都世田谷区 社会福祉法人 職員向けファシリテーション研修	3	0	9
	11月1日	愛媛県松山市 県立病院 看護職員向けファシリテーション研修	2	0	22
	11月3日	京都市 京都府臨床心理士会 スクールカウンセラー向けファシリテーション研修	2	0	48
	12月6日	大阪府松原市 私立大学 学部内会議のファシリテーター	2	0	15
	12月11日	群馬県伊勢崎市 群馬県総合教育センター 学校事務職員向けファシリテーション研修	2	0	27
	12月11日	沖縄県那覇市 那覇保護観察所 社会復帰調整官向けファシリテーション研修	2	0	12
	12月18日	埼玉県さいたま市 埼玉県発達障害福祉協会 障害者施設職員向けファシリテーション研修	1	0	26
	1月21日	愛媛県四国中央市 公立小学校 教職員向けファシリテーション研修	2	0	22
	2月10日	埼玉県吉川市 吉川市役所 自治会、NPO関係市民向けファシリテーション研修	2	0	40
	2月17日	東京都日野市 日野市社会福祉協議会 介護専門支援員向けファシリテーション研修	2	0	31
	2月18日他1回	兵庫県神戸市 兵庫県立男女共同参画センター 地域リーダー市民向けファシリテーション研修	2	0	40
2月21日	東京都中央区 地域包括支援センター 介護支援専門員向けファシリテーション研修	1	0	18	
災害復興委員会	4月24日他6回	広島県坂町 坂町支え合いセンター支援	16	0	176
	4月14日	広島県広島市 ひろしまネットワーク会議支援	2	0	13
	6月4日他1日	宮城県石巻市 日本カーシェアリング協会 研修支援	1	0	7
	5月10日	大分県日田市 宇和島支援団体 朝倉・日田スタディツアー支援	1	0	28
	5月17日他2日	熊本県嘉島町 嘉島町地域支え合いセンター運営会議	4	10	39
	5月21日	東京都墨田区 JVOADフォーラム分科会の企画実施	7	0	97
	6月28日他1回	東京都千代田区 全国情報共有会議の支援	5	0	49
	7月14日	広島県広島市 広島県災害支援板書ボランティア養成練習会	2	6	9
	8月26日	奈良県大和高田市 内閣府業務における災害時の連携に関わる研修会・訓練の支援業務(奈良)	3	0	151
	9月28日	愛媛県松山市 内閣府業務における災害時の連携に関わる研修会・訓練の支援業務(愛媛)	2	0	101
	11月21日	滋賀県大津市 内閣府業務における災害時の連携に関わる研修会・訓練の支援業務(滋賀)	1	0	68
	12月3日	神奈川県横浜市 内閣府業務における災害時の連携に関わる研修会・訓練の支援業務(神奈川)	3	0	162
	12月9日	静岡県静岡市 内閣府業務における災害時の連携に関わる研修会・訓練の支援業務(静岡)	2	0	95
	2月13日	岩手県盛岡市 内閣府業務における災害時の連携に関わる研修会・訓練の支援業務(岩手)	2	0	63
	2月7日	佐賀県佐賀市 内閣府業務における災害時の連携に関わる研修会・訓練の支援業務(佐賀)	2	0	100
	8月31日他3日	佐賀県佐賀市 佐賀災害支援プラットフォーム(SPF)内部会議支援	5	0	45
	9月13日	愛媛県宇和島市 宇和島支援団体ふりかえりWS支援	1	0	27
	10月7日	山形県山形市 やまがた避難者支援協働ネットワーク意見交換会	6	1	32
	9月17日他1日	千葉県千葉市 千葉県台風15号災害支援者打ち合わせ会	5	1	71

事業内容	実施日時	実施場所・実施内容	従業者数	受益対象者数	
				会員	一般
災害復興委員会	10月15日	千葉県千葉市 千葉ファッション主催、板書練習会支援	2	5	8
	10月20日他6日	宮城県仙台市 宮城県災害ボランティアセンター支援連絡会議支援	7	0	136
	10月24日	宮城県仙台市 板書ボランティア練習会in仙台の企画実施	1	6	4
	10月28日	千葉県鴨川市 台風15号災害支援関係者情報共有会議支援	2	0	60
	10月30日他1日	東京都千代田区・新宿区 全国情報共有会議【拡大版】	6	0	270
	11月22日	神奈川県横浜市 かながわファシリテーションクラブ主催、板書ボランティア勉強会支援	1	9	15
	11月4日他1回	宮城県仙台市・福島県南相馬市 ファシリテーター養成プロジェクト：FAN	4	0	8
	11月25日他6回	長野県長野市 長野県情報共有会議支援	22	0	424
	12月5日他7回	宮城県丸森町 丸森町災害情報共有会議支援	13	0	103
	12月26日	栃木県宇都宮市 台風19号における被災者の生活再建に関する研修会支援	1	0	63
	1月5日	長野県長野市 長野県高大生ファシリテーション研修	2	0	8
	1月14日	長野県長野市 信州農業再生復興ボランティアプロジェクト第2期第1回企画会議支援	2	0	12
	1月15日他1回	長野県長野市 長野県長沼ほっこりお茶会(情報共有会議)	5	0	89
	2月2日	広島県広島市 ボランティア交流サミットひろしま	1	0	30
	2月21日	静岡県静岡市 静岡県内外のボランティアによる救援活動のための図上訓練	2	1	293
2月17日	熊本県嘉島町 嘉島町支援3年間の振り返り	2	0	10	
				受益対象者延べ人数	5,410

#### 4. 交流・親睦事業

事業内容	実施日時	実施場所・実施内容	従業者数	受益対象者数	
				会員	一般
グローバル ファシリテーション 推進委員会	9月7日～9月8日	マレーシア クアラルンプール IAFアジア大会2019	4	0	0
	10月28日	オンラインにて開催 IAFアジア大会2019報告会	4	16	0
	12月1日	沖縄県宜野湾市 まりりんぎのわん(宜野湾マリン支援センター) IAFアジア大会2019報告会	1	2	2
	12月14日	兵庫県西宮市 西宮市民会館 会議室 IAFアジア大会2019報告会	3	11	1
				受益対象者延べ人数	32
地域イベント	11月2日	長崎県長崎市 長崎市民会館	12	19	42
	1月13日	宮城県仙台市 エル・パーク仙台 スタジオホール	13	12	28
	2月1日	東京都品川区 スクエア荏原	15	59	44
	2月15日	兵庫県神戸市 デザイン・クリエイティブセンター神戸(KIITO)1階	38	68	65
	2月22日	北海道札幌市 札幌市教育文化会館 研修室305			中止
	2月29日	広島県広島市 県立総合体育館(グリーンアリーナ) 地下1階大会議室			中止
	3月7日	静岡県浜松市 浜松労政会館			中止
				受益対象者延べ人数	337
共催・後援等イベント	6月22日	愛知県名古屋市 協賛:豊田市 ファシリテーション基礎講座	6	5	13
	10月31日	佐賀県佐賀市 後援:地方独立行政法人佐賀県医療センター ダイアログカフェ「闘病記を手にしてみよう」	3	-	21
	11月2日	長崎県長崎市 後援:長崎県および長崎市 九州支部イベント	9	19	45
	10月28日	大阪府大阪市 協力:日本都市計画学会関西支部 ワークショップ20	-	3	102
	11月16日	年後の新大阪のコンセプトを作ろう			
	11月24日	宮城県仙台市 後援:宮城にSDGsを広める会 SDGsを通して考える地域づくり～未来を育むデザインを語ろう～	10	5	23
	2月15日	兵庫県神戸市 協賛:スリーエム ジャパン株式会社、株式会社クオリア 後援:一般社団法人 手話エンターテイメント発信団 OIOI(オイオイ)、	38	68	65
				受益対象者延べ人数	369

## 5. その他の総合的な事業

事業内容	実施日時	実施場所	従業者数	受益対象者数	
				会員	一般
ニュースレター	年2回	東京都渋谷区 FAJ東京事務所、他全国		約1500	-
ウェブサイト	随時	東京都渋谷区 FAJ東京事務所、他全国		不特定多数	
メールマガジン SNS	随時	東京都渋谷区 FAJ東京事務所、他全国		約1500	-

## 6. 理事会

事業内容	実施日時	実施場所	従業者数	受益対象者数	
				会員	一般
通常総会	6月1日	仙台市青葉区青葉山 仙台国際センター	104	-	-
理事会	4月14日	東京都渋谷区 FAJ東京事務所	18	-	-
	5月19日	東京都渋谷区 FAJ東京事務所	16	-	-
	7月7日	大阪府大阪市東三国 ホテルウイングインターナショナル	11	-	-
	8月24日	東京都渋谷区 FAJ東京事務所	12	-	-
	9月15日	神戸市中央区三宮町 神戸センタープラザ西館	13	-	-
	10月6日	札幌市中央区北2条 道特会館	15	-	-
	10月20日	(各所オンラインにて臨時理事会)	10	-	-
	11月10日	(各所オンラインにて実施)	12	-	-
	12月8日	福岡市博多区博多駅東 リファレンス駅東ビル	14	-	-
	1月25日	神戸市中央区三宮町 神戸センタープラザ西館	13	-	-
	2月16日	愛知県名古屋市中村区 名古屋市貸会議室	14	-	-
	3月15日	(各所オンラインにて実施)	14	-	-
拡大理事会	8月25日	東京都千代田区 神保町貸し会議室	31	-	-
	1月26日	神戸市中央区三宮町 神戸センタープラザ西館	28	-	-

## II その他の事業

実施しませんでした。

令和1年度「特定非営利活動に係る事業」活動計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

科 目	金額（単位：円）		
(資金収支の部)			
I 経常収入の部			
1 会費・入金収入			
個人会費	14,045,000		
法人会費	100,000	14,145,000	
2 事業収入			
調査・研究事業収入	237,400		
教育・普及事業収入	14,280,900		
支援・助言事業収入	7,153,837		
交流・親睦事業収入	1,156,820	22,828,957	
3 寄付金収入			
個人寄付金	27,020		
法人寄付金	0	27,020	
4 助成金	1,090,000	1,090,000	
経常収入合計			38,090,977
II 経常支出の部			
1 事業費			
調査・研究事業費	4,900,250		
教育・普及事業費	10,072,126		
支援・助言事業費	6,728,951		
交流・親睦事業費	2,118,570	23,819,897	
2 管理費			
広報費	238,132		
交通宿泊費	5,780,812		
謝礼等	0		
会議費	332,820		
事務消耗品費	60,477		
通信運搬費	99,301		
諸会費	90,000		
雑費	350,273		
資料印刷費	621,624		
総会関係費用	1,161,020		
外部委託料	1,560,581		
支払手数料	472,448		
賃借料	1,000,594		
租税公課	116,900	11,884,982	
経常支出合計			35,704,879
経常収支差額			2,386,098
III その他資金収入の部			
その他資金収入合計	11,871	11,871	11,871
IV その他資金支出の部			
その他資金支出合計			0
当期収支差額			2,397,969
前期繰越収支差額			34,756,425
次期繰越収支差額			37,154,394

科目	予算	2019年度計	予算差異	予算比	決算内訳												
					事務局	北海道	東北	東京	中部	関西	中国	九州	サロン	アジア外	公開セミナー	ファシサポ	災害復興
<b>(資金収支の部)</b>																	
<b>I 経常収入の部</b>																	
1 会費・入金収入																	
個人会費	15,500,000	14,045,000	1,455,000	90.61%													
法人会費	200,000	100,000	100,000	50.00%													
	15,700,000	14,145,000	1,555,000	90.10%													
2 事業収入																	
調査・研究事業収入	255,000	237,400	17,600	93.10%		53,900	28,500		8,000	42,000	77,000	28,000					
教育・普及事業収入	16,070,700	14,280,900	1,789,800	88.86%									14,280,900				
支援・助言事業収入	5,650,000	7,153,837	-1,503,837	126.62%										5,009,616	2,144,221		
交流・親睦事業収入	2,283,500	1,156,820	1,126,680	50.66%			213,500	260,000		574,320		109,000					
	24,259,200	22,828,957	1,430,243	94.10%													
3 寄付金収入																	
寄付金	0	27,020	-27,020		27,020												
4 助成金等収入																	
民間助成金	0	1,090,000	-1,090,000												1,090,000		
	0	1,090,000	-1,090,000														
当期収入合計	39,959,200	38,090,977	1,868,223	95.32%	27,020	53,900	242,000	260,000	8,000	616,320	77,000	137,000	0	0	14,280,900	5,009,616	3,234,221
<b>II 経常支出の部</b>																	
1 事業費																	
調査・研究事業費																	
会場使用料	3,113,700	1,881,304	1,232,396	60.42%		北海道	東北	東京	中部	関西	中国	九州	サロン	アジア外			
事務消耗品費	441,000	439,969	1,031	99.77%													
交通宿泊費	2,600,000	1,290,868	1,309,332	49.64%		411,640	154,918	49,768	152,160	176,450	109,560	119,392	99,160	17,620			
謝礼等	992,000	629,836	362,164	63.49%		33,411	55,685	275,055	115,685	150,000							
印刷費	157,400	121,239	36,161	77.03%		2,610	19,870	59,314	5,095	7,304	6,500	20,546					
会議費	430,000	466,384	-36,384	108.46%		0	23,140	177,770	5,563	203,479	32,000	24,432					
雑費	149,000	70,850	78,150	47.55%		8,646	16,044	29,881	8,763	3,631	3,470	415					
研究開発費																	
	7,883,100	4,900,250	2,982,850	62.16%		651,379	372,362	1,462,569	550,240	1,147,178	282,861	281,920	134,121	17,620			
教育・普及事業費																	
会場使用料	2,527,200	1,955,616	571,584	77.38%											公開セミナー		
事務消耗品費	287,000	213,424	73,576	74.36%											1,955,616	213,424	
交通宿泊費	3,720,000	2,683,226	1,036,774	72.13%											2,683,226		
謝礼等	5,008,239	4,321,827	686,412	86.29%											4,321,827		
印刷費	621,000	544,617	76,383	87.70%											544,617		
会議費	290,000	227,804	62,196	78.55%											227,804		
雑費	150,749	125,612	25,137	83.33%											125,612		
	12,604,188	10,072,126	2,532,062	79.91%											10,072,126		
支援・助言事業費																	
会場使用料	100,000	25,780	74,220	25.78%											ファシサポ	災害復興	
事務消耗品費	80,000	60,440	19,560	75.55%											25,780		
交通宿泊費	3,470,000	3,182,046	287,954	91.70%											56,572	3,868	
謝礼等	2,200,000	3,362,146	-1,162,146												613,124	2,568,922	
印刷費	30,000	56,250	-26,250	187.50%											1,486,755	1,875,391	
会議費	0	10,700	-10,700												0	56,250	
雑費	10,000	31,589	-21,589	315.89%											0	10,700	
	5,890,000	6,728,951	-838,951	114.24%											430	31,159	
交流・親睦事業費																	
会場使用料	1,120,000	445,488	674,512	39.78%		北海道	東北	東京	中部	関西	中国	九州					
事務消耗品費	200,000	84,783	115,217	42.39%		54,400	50,400	70,350	8,775	243,800		11,963					
交通宿泊費	820,000	620,660	199,340	75.69%		4,526	2,950	29,267		23,558		24,482					
謝礼等	449,000	469,488	-20,488	104.56%		43,960	104,560	46,310		87,570		39,680					
印刷費	135,000	139,471	-4,471	103.31%		55,105	96,320	0	33,063	285,000							
会議費	100,000	48,820	51,180	48.82%		31,000	25,040	9,108	7,480	62,014	2,409	2,420					
雑費	449,500	190,567	258,933	42.40%		27,733	18,942	31,319	220	96,839	4,500	1,224					
外部委託料	208,000	119,293	88,707	57.35%				36,072		83,221							
	3,481,500	2,118,570	1,362,930	60.85%		216,724	209,722	247,776	49,538	889,402	6,909	79,769			418,730		
事業予備費																	
事業費計	30,858,788	23,819,897	7,038,891	77.19%		868,103	582,084	1,710,345	599,778	2,036,580	289,770	361,689	134,121	17,620	10,490,856	2,156,881	4,572,070
2 管理費																	
広報費	960,000	238,132	721,868	24.81%	事務局	システム管理	広報										
交通宿泊費	5,520,000	5,780,812	-260,812	104.72%		5,055,597	328,073	397,142									
謝礼等	0	0	0														
会議費	270,000	332,820	-62,820	123.27%		300,408	32,412										
事務消耗品費	50,000	60,477	-10,477	120.95%		60,477											
通信運搬費	131,000	99,301	31,699	75.80%		99,301											
諸会費	95,000	90,000	5,000	94.74%		90,000											
雑費	610,000	350,273	259,727	57.42%		300											
資料印刷費	928,500	621,624	306,876	66.95%		349,973											
総会関係費用	1,070,000	1,161,020	-91,020	108.51%		1,161,020											
外部委託料	2,254,000	1,560,581	693,419	69.24%		1,560,581											
支払手数料	500,000	472,448	27,552	94.49%		472,448											
賃賃料	980,000	1,000,594	-20,594	102.10%		1,000,594											
租税公課	330,000	116,900	213,100	35.42%		116,900											
管理費計	13,698,500	11,884,982	1,813,518	86.76%	10,003,348	471,865	1,409,771	0									
当期支出合計	44,557,288	35,704,879	8,852,409	80.13%													
<b>III その他資金収入の部</b>																	
その他資金収入合計		11,871	-11,871														
その他資金支出合計																	
当期収支差額	-4,598,088	2,397,969	-6,996,057	-52.2%													

令和1年度「特定非営利活動に係る事業」会計貸借対照表

令和2年3月31日現在

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

科目・摘要	金額 (単位:円)		
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
現金	0		
普通預金 三菱東京UFJ銀行(経費)	2,342,214		
普通預金 三菱東京UFJ銀行(継続会費)	522,643		
普通預金 三菱東京UFJ銀行(新規会費)	887,321		
普通預金 三井住友銀行	8,257,544		
普通預金 三井住友銀行	8,612,090		
普通預金 三井住友銀行	8,911,002		
普通預金 三井住友銀行	8,225,100		
棚卸資産			
前渡金	720,208		
前払費用	0		
未収入金	1,216,898		
流動資産合計		39,695,020	
2 固定資産			
固定資産合計	0		
減価償却累計額	0		0
3 投資その他の資産			
差入保証金	29,580		
投資その他の資産合計		29,580	
資産合計			39,724,600
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
未払金	1,589,345		
前受金	800,000		
仮受金	0		
預り金	180,861		
流動負債合計		2,570,206	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			2,570,206
<b>III 正味財産の部</b>			
前期繰越正味財産		34,756,425	
当期正味財産増加額		2,397,969	
正味財産合計			37,154,394
負債及び正味財産合計			39,724,600

令和1年度「その他の事業」活動計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

科 目	金額 (単位:円)		
(資金収支の部)			
I 経常収入の部			
1 会費・入会金収入			
個人会費	0		
法人会費	0	0	
2 事業収入			
物品の斡旋及び販売	0		
役務の提供	0	0	
3 寄付金収入			
個人寄付金	0		
法人寄付金	0	0	
経常収入合計			0
II 経常支出の部			
1 事業費			
物品の斡旋及び販売	0		
役務の提供	0	0	
2 管理費			
管理料等	0		
交通費	0		
事務消耗品	0		
通信費	0	0	
経常支出合計			0
経常収支差額			0
III その他資金収入の部			
その他資金収入合計			0
IV その他資金支出の部			
その他資金支出合計			0
当期収支差額			0
前期繰越収支差額			0
次期繰越収支差額			0

令和1年度「その他の事業」会計貸借対照表

令和2年3月31日現在

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

科目・摘要	金額（単位：円）		
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
現金	0		
普通預金	0		
流動資産合計		0	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			0
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
前受金	0		
流動負債合計		0	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
<b>III 正味財産の部</b>			
前期繰越正味財産		0	
当期正味財産増加額		0	
正味財産合計			0
負債及び正味財産合計			0

令和1年度会計財産目録

令和2年3月31日現在

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

科目・摘要	金額（単位：円）	
<b>I 資産の部</b>		
1 流動資産		
現金預金		
現金 現金手許有高	0	
普通預金 三菱東京UFJ銀行西新宿支店	2,342,214	
普通預金 三菱東京UFJ銀行西新宿支店	522,643	
普通預金 三菱東京UFJ銀行西新宿支店	887,321	
普通預金 三井住友銀行渋谷支店	8,257,544	
普通預金 三井住友銀行渋谷支店	8,612,090	
普通預金 三井住友銀行渋谷支店	8,911,002	
普通預金 三井住友銀行渋谷支店	8,225,100	
棚卸資産	0	
前渡金 令和2年度会場代	720,208	
前払費用	0	
未収入金 令和1年度売上未収分	1,216,898	
流動資産合計		39,695,020
2 固定資産		
固定資産	0	
固定資産合計	0	0
3 投資その他の資産		
差入保証金 レンタルスペース	29,580	
資産合計		29,580
		<u>39,724,600</u>
<b>II 負債の部</b>		
1 流動負債		
未払金	1,589,345	
前受金 令和2年度年会費	800,000	
預り金 講師謝礼源泉所得税	180,861	
流動負債合計		2,570,206
2 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		<u>2,570,206</u>
正味財産		<u>37,154,394</u>

令和元年度の事業報告書ならびに貸借対照表、活動計算書、財産目録を提出いたします。

令和2年4月12日

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会  
会長 竹本 記子



### 監査報告書

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会  
会長 竹本 記子 殿

特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、令和元年度（平成31年4月1日から令和2年3月31日まで）の特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会の業務および財産の状況について監査を実施いたしました。

業務については月次の理事会に出席したほか、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討しました。また財産の状況については証拠書類の閲覧、照合、質問等の合理的な保障を得るための手続きを行いました。

監査の結果、法人の業務の執行に関しては法令及び定款に違反する重大な事実はなく、令和元年度の特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会の財産の状況は適正なものと認められます。

令和2年4月12日

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

監事

小藤 輝正



監事

印

## 令和2年度事業計画書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

### 事業計画のポイント

---

2020年度のFAJは、ワクワクな改革が動き始め、ファシリテーターの「ターミナル」を目指します。

- ・ファシリテーションの更なる普及のため、現場実践から未来のファシリテーションを創造します。
  - ・社会課題に挑むファシリテーターと共に活動を進め、ファシリテーションの可能性を広げていきます。
- 

日本ファシリテーション協会(FAJ)は、ファシリテーションの普及を通して自律・分散・協働型の社会を目指すNPO団体です。FAJのこれまでの活動もあり、日本各地でファシリテーションの認知度は高まっています。その中で多くの会員が、FAJ内外でファシリテーションを学び、ビジネス、行政、地域コミュニティ、災害復興、教育、医療、福祉などの現場で課題に向き合って活用しています。

昨年度の原点を見つめ直す活動の中で、FAJは、自律分散ネットワーク型の社会の到来を予測し、ファシリテーターの実践コミュニティとして創設されたことを再確認しました。創設以来FAJは、全国に支部やサロンを広め、また様々な分野との掛け合わせを進めていく中で、ファシリテーションの普及と探究を16年間進めてきました。各現場にインパクトを届け、継続的な全国での調査研究活動や、各種イベントでの実績を持つ、まさにファシリテーションのナショナルセンターといえる団体です。

では、これからのFAJは、社会に対して何ができる団体になっていくのでしょうか。

これまで私たちの目指してきたファシリテーションの普及が、その良さを伝えることで、「ファシリテーションを知っている人を増やす」ことだったとすれば、これからの私たちの役割は普及の次なる形として、それぞれの現場での実践、本質の探求、社会課題の解決を通じて「ファシリテーションの有用性を示していく」ことではないでしょうか。

ファシリテーターひとりひとりが主役(当事者)となり、普及のあり方を「ファシリテーションを」から「ファシリテーションで」へ転換を図ることで、FAJの物語を再構成していきます。

まずは、本質を求めること、結果を残すこと、可能性を広げることに重点をおきます。

そして、ファシリテーションが社会でリアルに役立つために、FAJがファシリテーターズ・ターミナルとなることを目指して、引き続きワクワクな改革に取り組み、実践を始めていきます。

#### ■ ファシリテーションの更なる普及のため、現場実践から未来のファシリテーションを創造します。

新たな全国イベントの形として「ファシリテーションサミット」をスタートし、ファシリテーションのこれからの形を内外のファシリテーターとともに創造していきます。また、各地の定例会、イベントでの研究、交流や、各会員の現場での成果を全国の会員が共有することで相乗効果を生み出していきます。

#### ■ 社会課題に挑むファシリテーターと共に活動を進め、ファシリテーションの可能性を広げていきます。

引き続き、社会課題の解決に取り組む会員同士が学びあうことに加え、外部の協働パートナーとのコラボレーションにより、社会へのインパクトの相乗効果を高めます。その成果を対外的に発信することで、ファシリテーションの可能性を社会に対して伝えていきます。

以下、重点的に取り組む内容を事業別に記します(括弧内は担当組織を表します)。

## 1 ファシリテーション技術の確立や新しい技術の開発を目指す調査・研究事業

調査・研究事業では、FAJ内外の連携を深め、引き続き、課題解決に取り組む会員同士が学び合うことを目的に、実践力の相互研鑽の場をつくっていきます。また、新たな全国イベントとして「ファシリテーションサミット」をスタートします。

### 1) 実践力の相互研鑽の場作りの推進(理事会、各支部運営委員会、プロジェクト)

- 定例会や例会においては、「学び」と「実践」双方の視点からファシリテーションについて探究する場を開催、実施します。プロジェクトにおいては、テーマの特性を踏まえた調査・研究を行います。調査・研究した結果については振り返りや成果発表を実施することで、学びを深め実践につなげます。
- 新たな全国イベントとして、ファシリテーションに関わる「頂点にいる人、頂点を目指す人が集まる場」をイメージし「ファシリテーションサミット」を実施します。

### 2) ファシリテーションの本質を探究(理事会、イベント実行委員会)

- 立場・環境・地域・世界など様々な壁を乗り越えるための対話の場として、ワールドカフェが25周年を迎える今年度内に「ザ・ワールド・カフェ」をテーマとした今までの枠を超えたイベントを開催し、ファシリテーションの知見を深め本質の探究につなげます。

## 2 ファシリテーター養成や実践方法の普及を目指す教育・普及事業

教育・普及事業では、これまで提供してきた公開セミナーをより広く展開できるように、継続強化するとともに、公開セミナーの新たな事業である「実践編セミナー」をリリースします。

### 1) 従来の公開セミナーの継続強化(公開セミナー委員会)

- ファシリテーションの普及のため全国各地で公開セミナーを開催します。
- 今後も質の高いセミナーを継続的に開催できるよう、講師の増員、レベルアップを推進するとともに、セミナーコンテンツを継続的に改良します。
- セミナー・サポートセンター(SSC)が中心となり、地域を越えて相互協力し、セミナー運営の効率化を図ります。

### 2) 公開セミナーの新たな展開の検討(公開セミナー委員会)

- 公開セミナーの「実践編セミナー」をリリースし、2クラス程度を実施予定です。また集客状況や受講者の評価も踏まえながら、来年度以降の開催規模(地域・回数)の拡大を目指し、検討を行います。

## 3 各種団体におけるファシリテーションの活用をサポートする支援・助言事業

社会課題の解決や新しい社会の創造に関わる様々な個人・団体の要請に対して、ファシリテーションを活用した支援を行います。

### 1) 社会からの多様な要請に対する支援の充実(ファシリテーションサポート委員会)

- 行政・各種団体・NPO・学校・企業等の多様な分野から寄せられる様々な相談や依頼に対し、抱えている課題やニーズを丁寧にヒアリングし、会員を適切にコーディネートすることで、ファシリテーションを活用した支援を行います。
- 教育分野の案件に対しファシリテーションをより良く届けて行くために、過去の知見を整理し報告するなどして、支援リソース(人、ノウハウ、コンテンツ)を充実させます。

### 2) 災害復興・防災・減災に関するファシリテーションを通じた支援(災害復興委員会)

- 災害復興・防災・減災の分野において、ファシリテーションを活用した支援や支援人材の発掘・育成、学び合いをFAJ内外で行います。
- これまでFAJが支援してきた団体や地域を中心に復興支援のプロセス等の調査を行い、今後の支援活動に役立てます。

### 3) 支援活動への理解の促進(ファシリテーションサポート委員会、災害復興委員会)

- FAJ内外に向けて、報告書や報告会、SNSなどで委員会の活動の効果・意義を広く伝えます。

#### 4 ファシリテーターや関連団体間の親睦を図る交流・親睦事業

交流・親睦事業では、各種イベントや関連団体との交流を通じて、FAJ内外のつながりをさらに深めます。

##### 1) 地域イベントを開催(各支部運営委員会、地域イベント実行委員会)

- 各支部におけるイベントの開催により、地域に根差した交流を深めます。さらに地域を跨いだイベントも開催することで、地域内外を通じてより開かれた交流を図り、ファシリテーションの普及と探究を一層促進します。

##### 2) 国境や文化・言語を越えてつながる交流・親睦活動の強化(グローバルファシリテーション推進委員会)

- FAJ会員を2020年10月のIAFストックホルム大会に派遣し、FAJのグローバル活動の幅を拡げ、強化します。併せてFAJ内外に知見を提供します。
- グローバル社会に向けたファシリテーションへの活動の可能性をさらに拡げ、様々な実践に移していきます。

##### 3) 他団体との連携強化(理事会、各支部運営委員会)

- IAFをはじめとするファシリテーションの普及・研鑽に関わる団体と、協働パートナーとしての活動を進めます。
- 各分野で活動している外部団体とファシリテーションを軸にコラボレーションを進めます。また、FAJ外部のファシリテーターとの連携を深めます。

#### 5 広報・コミュニケーション活動

ファシリテーションのインパクトをより効果的に社会に伝えるとともに、将来の会員や支援先、協働パートナーにFAJのミッションや活動を発信するための広報をより強化して展開します。また、会員相互のコミュニケーションの充実を図ります。

##### 1) 広報優先順位の策定と発信の強化(理事会、広報委員会)

- FAJ内外それぞれの違いを意識したものとします。特に外部に向けた広報を重視し、スピード感を持って発信できる仕組み作りをします。
- ニューズレターやWeb、SNS、ブログなど、ターゲットに合わせて効果的に発信できる手法を検討します。

##### 2) FAJ活動を内外に発信する広報活動の実施(広報委員会)

- FAJ内には、会員であることの価値や、会員同士のコミュニケーションを意識したものにします。
- FAJ外には、入会者やコラボレーションの相手を増やすこと、ファシリテーションの本質を求めること、実践事例を伝えること、可能性を広げることを意識したものにします。
- FAJが社会課題に挑むファシリテーターと共に進める活動や、FAJ内外のファシリテーションに関する知見や、会員それぞれの現場での実践事例を、意欲的に収集・発信していきます。

#### 6 ミッション及び組織運営に関わる活動

未来のFAJの姿を描きながら、法人として持続可能で確実な運営と組織のあり方についての対話と議論をさらに進めていきます。

##### 1) 組織のあり方と運営のやり方の検討(理事会、各拠点、事務局)

###### 1)-1 組織のあり方の検討

- 組織がおかれている現状を踏まえて、ビジョン3.0を再確認し、ビジョンの検討を始めます。
- 「協働」と「共創」をキーワードとする新たな活動の調査とプロトタイプの実行を実施します。

###### 1)-2 組織運営のやり方の検討

- 組織活動が持続可能であるように、事業の適正規模を検討するとともに、寄付などを通じた新たな資金調達方法を検討します。
- 協会運営に関わる私たちが「やりたいこと」「やらなければならないこと」の違いを認識し、お互いに支えあい、持続可能な組織運営が継続して行えるように、運営のやり方を検討・確立していきます。

##### 2) 拠点運営のサポートの充実(システム管理委員会)

- 未統制・未整備のデジタル環境を整備し、セキュリティを強化するとともに、拠点運営の負荷分散・権限の明確化を図ります。

##### 3) 各種制度改正への対応(理事会、事務局)

- FAJとしての活動を維持・向上させるために、NPO法人に関連する各種の制度改正への対応を行います。

## FAJ ビジョン 3.0

### タテ型社会の常識からヨコ型社会の知恵へ (社会の視点・ファシリテーションの視点)

- ① 社会を構成する多くの人が、**対話と議論の手法や知恵**を自ら学び活用し、協働している。
- ② ファシリテーションが、あらゆる地域・分野の現場で、その存在を知られ、社会全体が、上意下達のタテ型社会の常識から、多様な考えやあり方を認め合いともに歩む**ヨコ型社会**を目指して変革をはじめている。

### 強い意志を持ったイノベーターのネットワークへ (ファシリテーターの視点・FAJの視点)

- ③ 社会や組織の課題を解決したいと願う挑戦的な**イノベーター**が、ファシリテーションによって現場で変革を起こしている。
- ④ 自覚と責任あるファシリテーターの**ネットワーク型組織**が、臨機応変にその実践とイノベーションを支えている。

## ビジョンを実現するためのFAJの行動

- ① 社会を構成する多くの人が、対話と議論の手法や知恵を自ら学び活用し、協働している。
  - FAJは、個々の思いを機敏に具現化して、着実にイノベーションへとつなげる集合知を創生する。
  - FAJは、課題解決や変革を必要としている組織・コミュニティにファシリテーションのスキルとマインドを届ける。
- ② ファシリテーションが、あらゆる地域・分野の現場で、その存在を知られ、社会全体が、上意下達のタテ型社会の常識から、多様な考えやあり方を認め合い、ともに歩むヨコ型社会を目指して変革をはじめている。
  - FAJは、社会に深く根を張る上意下達型・ヒエラルキー型の思考様式と行動様式を打ち破り、多様な人々が自律的につながるネットワーク型組織の成功事例を、身をもって実現する。
  - ファシリテーションが生んだ成功事例を集め、その有用性や応用可能性、社会に与えるインパクトをアピールする。
- ③ 組織や社会の課題を解決したいと願う挑戦的なイノベーターが、ファシリテーションによって現場で変革を起こしている。
  - FAJに集まる野心的なファシリテーターが、国際的紛争や新しい分野など、それぞれの現場に向き合って耕し、その課題解決に挑戦し、成果を上げている。
  - FAJに集まるファシリテーターが、ヨコ型社会における新しいリーダーシップに挑戦している。
- ④ 自覚と責任あるファシリテーターのネットワーク型組織が、臨機応変にその実践とイノベーションを支えている。
  - FAJは、地域や特定分野での実践的な活動を支援する拠点やプロジェクトを臨機応変に立ち上げ、自覚と責任を持って変革を進める人々を輩出し、それらの場をつなぐネットワークのハブとなる。
  - FAJは、ファシリテーションに関する知識と経験を深めるため、研究と試行を重ね、地域や分野、世代を超えて実践者が刺激し合う相互研鑽の場となる。

## ミッション

ファシリテーションの普及を通じて、ビジネス分野においては、生産性・モチベーション・リーダーシップ力を向上させ、社会的な分野では、市民活動・地域経営・国際交流の質を高め、教育の分野では、多面的な視点を持つ人材を育成していくことをめざしています。

ビギナーからプロフェッショナルまで、ビジネス・まちづくり・NPO・教育・環境・医療・福祉など、多彩な分野で活躍するファシリテーターが集まり、多様な人々が協働しあう自律分散型社会の発展をめざして、幅広い活動を展開していきます。

以下、計画の詳細について記載します。

### 【A】特定非営利活動にかか事業

#### 1. 調査・研究事業

事業内容	実施日時	実施場所	従業者	受益対象者
北海道支部 定例会	通年 (11回)	北海道	33名 (3名×11回)	会員330名、一般33名 (会員30名＋一般3名)×11回
東北支部 定例会	通年 (12回)	宮城	24名 (2名×12回)	会員180名、一般60名 年間12回
東京支部 定例会	通年 (11回)	東京・神奈川・千葉・埼玉・群馬等	220名 (20名×11回)	会員740名、一般480名 (会員80名＋一般10名)×8回 (一般100名)×4回
中部支部 定例会	通年 (11回)	愛知	66名 (6名×11回)	会員440名、一般77名 (会員40名＋一般7名)×11回
関西支部 定例会	通年 (11回)	大阪・京都・兵庫	132名 (12名×11回)	会員550名、一般88名 (会員50名＋一般8名)×11回
中国支部 定例会	通年 (11回)	広島	33名 (3名×11回)	会員132名、一般33名 (会員12名＋一般3名)×11回
九州支部 定例会	通年 (11回)	福岡	33名 (3名×11回)	会員330名、一般66名 (会員30名＋一般6名)×11回
サロンサポート	—	地域型12カ所 テーマ型5カ所	—	—

#### 2. 教育・普及事業

事業内容	実施日時	実施場所	従業者	受益対象者
公開セミナー	通年 (46クラス)	東京・大阪・愛知・広島・福岡等	230名 (5名×46クラス)	会員368名、一般552名 (会員8名＋一般12名)×46クラス
事業検討	未定	—	—	—

### 3. 支援・助言事業

事業内容	実施日時	実施場所	従業者	受益対象者
ファシリテーション サポート委員会	通年 (50回)	全国	100名 (2名×50回)	一般1,500名 (一般30名×50回)
災害復興委員会	通年 (30回)	全国	60名 (2名×30回)	一般900名 (30名×30回)

### 4. 交流・親睦事業

事業内容	実施日時	実施場所	従業者	受益対象者
グローバル ファシリテーション 推進委員会	10月	ストックホルム	5名	不特定多数
	未定	静岡	-	-
	未定	福岡	-	-
	未定	東京	-	-
	未定	札幌	-	-
	未定	仙台	-	-
	未定	大阪	-	-
	未定	広島	-	-

### 5. その他の総合的な事業

事業内容	実施日時	実施場所	従業者	受益対象者
広報委員会				
ニューズレター	3回	全国	24名 (8名×3回)	会員1,400名
ウェブサイト	通年	全国	20名	不特定多数
メーリングリスト等	通年	全国	20名	会員1,400名

### 【B】その他の事業

実施しません。

令和2年度「特定非営利活動に係る事業」活動予算書

単位＝円

2020年4月1日から2021年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

科目	2020年度予算		予算内訳											
	事務局	北海道	東北	東京	中部	関西	中国	九州	公開セミナー	サミット	TWC25	ファシサポ	災害復興	
<b>I 収入の部</b>														
1 会費収入														
個人会費収入	14,500,000	14,500,000												
法人会費収入	200,000	200,000												
	14,700,000	14,700,000												
2 事業収入														
調査・研究事業収入	5,117,080		90,000	1,200,000	44,000	50,000	50,000	24,000		1,559,080	2,100,000			
教育・普及事業収入	16,953,440								16,953,440			3,920,000	320,000	
支援・助言事業収入	4,240,000													
交流・親睦事業収入	1,824,500	230,000	228,500	320,000	226,000	400,000	220,000	200,000						
	28,135,020	230,000	318,500	1,520,000	270,000	450,000	270,000	224,000	16,953,440	1,559,080	2,100,000	3,920,000	320,000	
3 寄付金収入														
個人寄付金														
法人寄付金														
4 助成金等収入														
民間助成金														
収入合計	42,835,020	14,700,000	230,000	1,520,000	270,000	450,000	270,000	224,000	318,500	16,953,440	1,559,080	2,100,000	3,920,000	320,000
<b>II 支出の部</b>														
1 事業費														
調査・研究事業支出														
会場使用料	4,742,200	195,200	132,000	1,500,000	358,500	520,000	120,000	300,000		782,000	644,500	190,000		
事務消耗品費	540,000	20,000	30,000	143,000	40,000	120,000	30,000	48,000		10,000	80,000	19,000		
交通宿泊費	3,318,000	480,000	240,000	720,000	225,000	398,000	200,000	210,000		80,000		765,000		
謝礼等	2,218,000	56,000	112,000	800,000	200,000	170,000	30,000	50,000		200,000	600,000			
印刷費	630,000	15,000	24,000	290,000	20,000	25,000	12,000	24,000		20,000	200,000			
会議費	554,000	15,000	44,000	220,000	20,000	125,000	60,000	30,000		20,000	20,000			
雑費	453,000	3,000	20,000	70,000	40,000	30,000	5,000	12,000		171,000	102,000			
外部委託料	539,685									96,195	443,490			
研究開発費	30,000												30,000	
	13,024,885	784,200	602,000	3,743,000	903,500	1,388,000	457,000	674,000		1,379,195	2,089,990	974,000	30,000	
教育・普及事業支出														
会場使用料	2,562,000								公開セミナー	サロン・プロジェクト詳細				
事務消耗品費	291,000									【サロン：(地域型)12+1(新設予備) / テーマ型:3+2(～3年目)+1(新設予備)】会場使用料				
交通宿泊費	3,700,000									(各1万*19), 事務消耗品費(各0.1万*19, 交通				
謝礼等	5,234,390									宿泊費(地域型, テーマ型:各3万*15, 沖縄:4.5				
印刷費	629,600									万, テーマ型(～3年目、新設予備):9万*3)				
会議費	294,100									【プロジェクト:1(新設予備)】研究開発費:3万				
雑費	152,100									152,100				
	12,863,190								12,863,190					
支援・助言事業支出														
会場使用料	108,000											ファシサポ	災害復興	
事務消耗品費	37,000												108,000	
交通宿泊費	3,456,000												22,000	
謝礼等	2,630,000												780,000	
印刷費	50,000												1,750,000	
会議費													880,000	
雑費	62,000												50,000	
	6,343,000											2,000	60,000	
交流・親睦事業支出														
会場使用料	1,120,000	北海道	東北	東京	中部	関西	中国	九州	グローバル					
事務消耗品費	130,000	85,000	65,000	250,000	200,000	350,000	50,000	100,000	20,000					
交通宿泊費	1,180,000	10,000	10,000	30,000	10,000	35,000	10,000	25,000						
謝礼等	502,000	90,000	50,000	30,000	20,000	100,000	50,000	100,000	740,000					
印刷費	169,000	56,000	56,000	55,000	80,000	115,000	60,000	50,000	30,000					
会議費	119,000	14,000	40,000	30,000	25,000	30,000	20,000	10,000						
雑費	294,000	5,000	35,000	30,000	10,000	20,000	5,000	4,000	10,000					
外部委託料	120,000	15,000	20,000	50,000	60,000	100,000	15,000	4,000	30,000					
	3,634,000	317,000	276,000	525,000	423,000	750,000	220,000	293,000	830,000					
事業予備費	1,500,000	1,500,000												
事業費計	37,365,075	1,500,000	1,101,200	878,000	4,268,000	1,326,500	2,138,000	677,000	967,000	13,693,190	1,379,195	2,089,990	3,528,000	3,819,000
2 管理費														
広報費	420,000	事務局	システム	広報										
交通宿泊費	4,120,000	200,000	160,000	60,000										
謝礼等		3,100,000	400,000	620,000										
会議費	250,000	200,000	30,000	20,000										
事務消耗品費	50,000	50,000												
通信運搬費	131,000	131,000												
諸会費	95,000	95,000												
雑費	110,000	10,000	10,000	90,000										
資料印刷費	928,500	75,000		853,500										
総会関係費用	800,000	800,000												
外部委託料	2,312,000	1,862,000		450,000										
支払手数料	500,000	500,000												
賃料	980,000	980,000												
租税公課等	330,000	330,000												
管理費計	11,026,500	8,333,000	600,000	2,093,500										
支出合計	48,391,575													
その他資金収入合計														
当期収支差額	-5,556,555													
前期繰越収支差額	37,154,394													
次期繰越収支差額	31,597,839													

<第3号議案> 令和2年度役員を選任について

(普通決議:総会に出席した正会員の過半数による議決)

1. 令和2年度の理事候補者 (敬称略、再任、新任で50音順)

再任 小栗 由香

再任 亀井 直人

再任 小池 秀裕

再任 斉藤 俊哉

再任 高橋 尚矢

再任 竹本 記子

再任 津田 壮彦

再任 中西 百合

再任 本宮 大輔

新任 加藤貴美子

新任 徳山 可之

新任 林加代子

2. 令和2年度の監事候補者 (敬称略、再任、新任で50音順)

再任 上井 靖

新任 疋田 恵子